

協働事業提案書

2023 年 8 月 25 日

(宛先) 富士市長

団体名 富士友の会

代表者名 佐野 朋子

1 提案内容

提案区分	☐ 市民提案型 ☒ 行政提案型 (課題No. 2、担当課: 廃棄物対策課)	
提案事業名	経済と時間にゆとりが生まれる片付け ——— ゴミの減量化につながる快適な暮らしを目指して ———	
提案の目的・必要性	解決しようとする課題と提案事業実施の必要性について記入して下さい。 富士友の会では、20年以上前から環境問題に関心を持ちCO2の削減に取り組み、光熱費、ガソリン代の排出量の調査を会員内で行い、常に生活スタイルについて改善を考える生活を研究してきました。そういった姿勢で、ゴミの減量化について考え、そして、ここ6年間は、市役所廃棄物対策課との協働事業で食品ロス削減講座について提案し共に励んできました。そして食品ロスを無くす工夫こそが、各家庭の経済や時間にゆとりを生み生活の改善にもつながっていくということを痛感いたしました。 そこで、食品ロス削減同様、角度を変えた見方で、整理整頓、片付けについても同じように掘り下げ、具体的に、どんなことから始めたらいいのか、その生活姿勢から始めて、心から整理整頓、片付けの必要性を感じてもらえるように訴え、物を大切にする姿勢で3Rやゴミの減量化につながって行ければと思います。	
協働の必要性・メリット	必要性	私達、友の会は、常に社会に働きかけ”家庭から社会へ”という姿勢で活動している団体です。 行政と共に市民に働きかける事で、より私達の活動の目的が果たされることになり共に良い社会、富士市を目指していきたいと思っています。 今回も、市民の前向きな姿勢を促し、共に3R、ゴミの減量化につながるよう富士市の実態を理解しながら講座に取り組みたいと思っています。
協働事業として実施する必要性を記入してください。また、実施することによってそれぞれの享受できるメリットを具体的に記入してください。	メリット	(市民のメリット: 市民が享受できるサービスや解決される課題など) 他の民間の講座と違い、無料で参加できる。 物が多すぎ、整理整頓に悩んでいる人、また忙しくて時間の工面も難しくどこから手を付けていいのか悩んでいる人、どんな人でもそのコツをつかめば片付けは出来ていくようになります。片付けができるようになれば、余分なものを持たなくなりゴミも減っていき、時間と経済に良い循環が出来てきます。そのきっかけとなる講座になると思います。 (団体等のメリット: 行政の持つツール等の活用や信頼性の確保など) 行政と協働で行うということで、参加者の信頼感を得る事が出来、誘いやすい。 また、広報での宣伝、各まちづくりセンターや地域ヘチラシなどによる呼びかけなども依頼できること。 富士市で活動する団体として市と連携できることで活動がより活性化する。 (市のメリット: 団体等が持つ専門性やノウハウの活用など) 友の会がこれまでの勉強を活かし、ゴミ減量化につながる講座を持つことにより富士市のゴミの減量化につながる。 会員の住居が富士市全域に渡っているため、それぞれの地域で講座への動員が出来る。



提案のセールスポイント 提案の先駆性、先進性、創意工夫など評価項目に対するセールスポイントを記入してください。	提案の先駆性、先進性、創意工夫など評価項目に対するセールスポイントを記入してください。 私達は、友の会と切り離せない「婦人之友」から、整理整頓、片付けの勉強をその時々時代に沿った形で勉強してきました。それは、時代がどんなに変わっても、基本的なことは決してぶれることはありません。その中で、会員一人一人が常に時代に合わせて研究し、自分の生活を通して実践してきました。その中から講座を作り上げていきます。講座は、単に整理して片付ければよしというだけでなく、その根底にあるものから大切に、参加者が、前向きになりその場限りでなく、その考えを持続出来るような内容を作りたいと願っております。 具体的なやり方として、食品ロスの講座の時のように、映像を使い、まずCO2やゴミの実態この講座の目的などを話し、前回、分かりやすかったと言われる主婦の会話劇などを取り入れ、整理整頓、片付け、3Rにつながる考え方を主婦目線で取り入れます。次に、具体的に だ（出）、わ（分）、へ（減）、し（収）という出して分けて、減らして、しまうというやり方を実物を見せながら行い、本当に必要な物を見極める事、使わないものは、他で利用することも事も伝えます。また、牛乳パックを使った仕切りで収納を考えるやり方などを伝授させていただきたいと考えております。	
事業内容及びスケジュール 実施しようとする事業の内容及び事業の流れなどを時系列、箇条書きで具体的に記入してください。	事業内容 スケジュール	整理整頓、片付けを通して、市民の生活意識が変わるような内容で、映像、実習等を盛り込んだ分かりやすく具体例を示した講座を開く。 2023年12月～2024年6月委託事業担当スタッフを決め講習会の準備や資料の検討、作成（月1回～2回） 6月 富士友の会会員向けリハーサル検討会（1回） 7月 市役所向けリハーサル検討会（1回） 7月から10月ぐらいまでに講座（講座回数は3回から5回市役所の都合による）
事業の目標 事業完了時の達成目標について、数値等を用いて具体的に記入してください	物に対する意識を購入、取り扱い、片付け、再利用などいろいろな角度から高めそれが3Rやゴミの減量化につながっていくようになる	
役割分担 団体等と市の役割を具体的に記入してください。	(団体等の役割) 講座の内容を作り、講座に必要なものを用意する。 まちづくりセンターにおいて1回当たり1時間程度の講座を行う。 (市の役割) 広報活動、回覧板、まちづくりセンターの場所を確保	